

平成 30 年度

港区ごみ減量優良事業者等表彰 受賞者の紹介

受賞者

- とう あ ごうせい
- 東亜合成ビル

きょうえいか さいしんばしほんしゃ

 - 共栄火災新橋本社ビル

とうきょうと りつあおやまとくべつし えんがっこうこうしゃとう

 - 東京都立青山特別支援学校校舎棟

(規模別ビル名五十音順)



港区
リユースキャラクター
リュー助



港区
リサイクルキャラクター
エコル

港区は、事業所が集積する都心区という地域特性から、区内から排出されるごみの大部分を「事業系ごみ」が占めるという特徴があります。

「事業系ごみ」の減量を着実に進めるためには、事業者による“ごみの発生抑制”“リサイクル（資源化）への取組”が必要不可欠となっています。

そのため「事業系ごみ」の減量とリサイクルの一層の推進を図るために、平成21年度に「港区ごみ減量優良事業者等表彰制度」を創設し、模範的な取組により、高いリサイクル率を達成するなどの顕著な実績を上げている事業者等を表彰しています。

これらの優良事業者の模範的で優れた取組事例を、区のホームページなどで広く紹介することや、区内事業所への立入指導の際に効果的に活用し、事業者による更なる自主的な取組を促進し、「事業系ごみ」の減量・資源化を図るための一助として役立てていきます。

港 区



東亜合成ビル

受賞者	東亜合成株式会社
建物所在地	西新橋 1-14-1
延床面積	5,956 ㎡



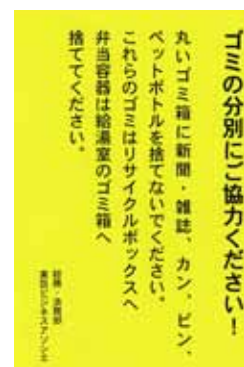
表彰理由

適正な手元分別を行うための分別回収容器設置や社員に対するきめ細かい指導や周知の取組が評価されました。

ゴミ分別のお願い		
ゴミは以下の11種類に分別して廃棄してください。自治体(家庭)での区分とは異なります。ご協力をお願いします。		
種別	廃棄先	処理方法
① コピー用紙	コピー用紙専用ゴミ箱(複合機様の白い丸ゴミ箱)	リサイクル
② コピー用紙以外の紙類	個人の机脇にある丸いゴミ箱	リサイクル
③ 新聞・雑誌・書籍・パンフレット・チラシ・ポスター・写真・CD・DVD・ビデオ・ゲームソフト・CD-ROM・DVD-ROM・その他紙類	机周辺の黒い角ゴミ箱または給湯室のゴミ箱	リサイクル
④ 新聞・雑誌・書籍・パンフレット・チラシ・ポスター・写真・CD・DVD・ビデオ・ゲームソフト・CD-ROM・DVD-ROM・その他紙類	エレベーター前回収ボックス	リサイクル
⑤ 缶・ビン・ペットボトル(キャップも含む)	エレベーター前回収ボックス	リサイクル
⑥ 給湯室(給湯後のもの)に集まる	給湯室の専用回収ボックス	リサイクル
⑦ 生ゴミ	給湯室の生ゴミ専用箱	焼却
⑧ 弁当・食品	給湯室のゴミ箱	リサイクル
⑨ 破断容器	クリップ等をはずし、「危険」と表記した袋に入れてエレベーター前の回収ボックスの上に置く(注)	リサイクル
⑩ バイナリークリップ類	書類をはずし、エレベーター前の回収ボックスへ	社内で再利用
⑪ 乾電池	袋に入れてエレベーター前の回収ボックスの上に置く	廃棄



ゴミ分別エリア



分別表示

ごみの種類ごとに社内のどこで回収され、処理がどうされているのか、一目でわかる様に工夫されています。

誤った分別はイエローカードで注意喚起されています。

受賞者の声

東亜合成ビルは、1973年に竣工した地下2階・地上8階建てのオフィスビルです。当社の本社ビルであり、グループ会社も含め約250名の社員が勤務しています。

当社は、「素材と機能の可能性を追求し、化学の力で新しい幸せをあなたへ届けます。」との企業理念のもと化学関連の事業を推進するメーカーであり、環境への配慮として廃棄物の削減に取り組むことは社会に対して果たすべき重要な責任であると考えています。

そこで当ビルでは、以下の取組みを通じてゴミの分別・リサイクル化を進めています。

1. ゴミの細かな分類によるリサイクル化の促進

当ビルでは缶やペットボトル・弁当のプラスチック容器など様々なゴミが出されますが、それらを10以上の種類に分類し、可能な限りリサイクル資源として排出するようにしています。2018年は発生したゴミのうち約95%がリサイクル化されました。

2. ゴミ分別廃棄の徹底

社内の電子掲示板とゴミ捨てエリアのそばにゴミの分別に関する案内を掲示し、社員がゴミの分別に迷わないようにしています。また、正しく分類されていないゴミがあれば、清掃係員が正しく分類しなおし、そのゴミを出した人の机に注意を促す紙（イエローカードと呼んでいます）を置くことで社員の分別意識の向上を図っています。

この度は優良事業者との認定を頂き大変光栄に思いますが、これをゴールとせず、社員の意識をより高めてゴミの減量とリサイクル率の向上に努めます。

共栄火災 新橋本社ビル

受 賞 者	共栄火災海上保険株式会社
建 物 所 在 地	新橋 1-18-6
延 床 面 積	20,909 m ²



表彰理由

廃棄物の実量測定とミックスペーパー回収を導入し、廃棄物の減量化と処理費用の低減化を実現された取組が評価されました。



分別表示掲示



分別容器の設置状況



計量器

分別表示と分別容器の色を合わせることで、分別をしやすくしています。

受賞者の声

共栄火災新橋本社ビルは、1979年8月に竣工した、地上9階、塔屋2階、地下2階建てで、地下2階にごみ集積場を有するオフィスビルです。

現在は、約700名の社員が勤務しております。

共栄火災新橋本社ビルでは、ごみの減量とリサイクル率の向上に向けて、以下の取組みを実施しております。

- ・個人で使用していたごみ箱を廃止し、各フロアーに「可燃ごみ」、「不燃ごみ」、「缶・ビン」、「ペットボトル」、「紙パック・紙箱」、「弁当殻」、「新聞・雑誌・菓子箱」、「金属類」、「記憶媒体」の専用ごみ箱・容器を設置しました。

その後、新たに下記の取組みを行いました。

- ・各フロアーのごみ箱上に掲示してある「ごみ分別表」と「ごみ箱投入口の色」を統一化しました。
- ・ごみに関するビル内の掲示等が古くなっている物、毀損状態である物を一新しました。
- ・塵芥室の掲示物を見やすくし、社員が直接持込んでいるごみの分別を行い易くしました。
- ・その上で、ごみ分別に関する案内の発信を改めて行いました。
- ・また、定期的に清掃員によるごみ収集時に感じる分別ミスに関するヒヤリングを実施して、分別掲示物の追加、差し替え等を実施し、掲示物等の維持管理、ごみ箱周辺の美化に努めました。

以上のような取り組みを実施してきたことが、今日の状況に至ったと思われます。

尚、書類廃棄BOX（溶解処理）導入によるリサイクル率の向上や、パンフレットの分別等でコスト削減にも努めてまいりました。

今後も見直しを実施して、更なるごみの減量とリサイクル率の向上に取り組んでまいります。

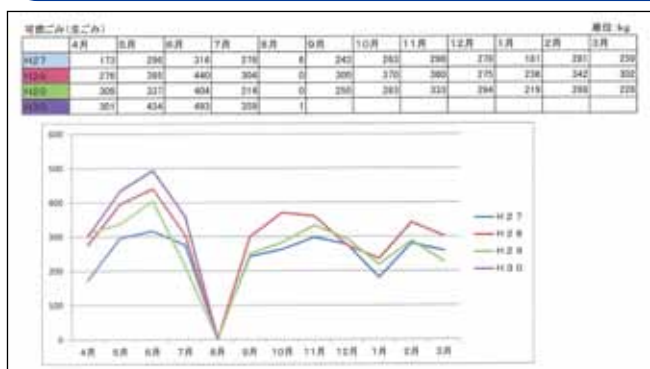
東京都立青山 特別支援学校 校舎棟

受 賞 者	東京都立青山特別 支援学校校舎棟
建 物 所 在 地	南青山2-33-77
延 床 面 積	8,222 m ²



表彰理由

子ども達が適正な分別を行えるよう発達状態に応じた支援・工夫を行うとともに、教職員間ではごみ量のグラフ化をととした実態把握と意識付けにより、ごみの減量に取り組まれていることが評価されました。



ゴミ排出量のグラフ



アニメを使った分別容器



子供たちの分別作業

回収容器をごみの種類ごとに色分けしたり、アニメキャラクターを使い、子どもたちが正しい分別を行えるように工夫されています。

受賞者の声

本校は、旧都立赤坂高等学校跡地に、平成26年に開校した都立の特別支援学校です。

小学部・中学部あわせて約130名の知的障害がある児童・生徒と、教職員約60名が在籍しております。

地上4階建の校舎で、地下は巨大な雨水の集水桝となっており、集水された雨水は中水に再利用されています。

本校における廃棄物減量及びリサイクルの取組は、大きく分けて二つです。

一つ目は、中学部生徒による取組です。将来的な自立と社会参加を目指し、生徒達は校内のごみ回収をキャリア教育の一端として体験します。その際の一助とすべく、本校では可燃は白、プラスチックは青いごみ箱に統一し、障害のある生徒の作業環境を整える配慮も行っております。また、回収したペットボトルを洗浄・分別して、植物の栽培等に役立てるといった再利用の流れについても、授業を通して学んでおります。

二つ目は教職員における取組です。用務主事が先頭に立ち、ごみの分別・リサイクルを周知徹底しております。まず、各自がデスク横のごみ箱で可燃とプラスチックを分別し、フロアのごみボックスへ入れる際に再分別、その後、用務主事が混入チェックを行い再々分別後、計量・記録します。最も多く排出される紙類は、各個人が分別しリサイクルボックスへ入れたものを、こちらも用務主事が再分別して、全て古紙回収業者へ委託します。

校内ごみ庫内の分別・整頓状況は、本校の建築物環境衛生管理技術者からお褒めの言葉を頂戴するほど常に行き届いております。

更に、廃棄物排出量削減に関する意識付けのため、新規着任者に本校におけるごみの分別ルールについて周知したり、開校時以来のごみ排出量を月別種類別にグラフ化し、全教職員宛メールで送信する等の取組も、日々行っております。

開校以来実践してきました本校の取組について、この度評価いただきましたことに感謝申し上げると同時に、今後も更なる廃棄物削減・リサイクル率向上に取り組んでまいります。

発行 港区環境リサイクル支援部 みなとリサイクル清掃事務所

〒108-0075 港区港南3-9-59 TEL (3450) 8025

平成 31 年 3 月発行

発行番号 30256 - 5651